

三重大学大学院
地域イノベーション学研究科博士前期課程
学生募集要項

2025 年 10 月入学
(第二次募集)

2026 年 4 月入学
(推薦・第一次募集・第二次募集)

2026 年 10 月入学
(第一次募集)

【入学試験日程表】

- 自然災害や感染症の拡大状況、その他の事情により、入試日程・選抜方法等が変更になることがあります。その際は、本研究科ホームページのトップページにある「NEWS」へ掲載します。最新情報を随時ご確認ください。<https://www.mie-u.ac.jp/innovation/>

2025 年 10 月入学 第二次募集＜社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜＞

2026 年 4 月入学 ＜推薦による選抜＞

内 容	日 程
障害等のある入学志願者との事前相談	2025 年 5 月 30 日（金）まで
入学資格審査 申請期間	2025 年 4 月 28 日（月）～5 月 22 日（木）
入学資格審査 結果通知	2025 年 5 月 29 日（木）以降
出願期間	2025 年 6 月 16 日（月）～6 月 30 日（月）
試験日	2025 年 7 月 17 日（木）
合格者の発表	2025 年 7 月 25 日（金）
入学手続き	2025 年 10 月入学：2025 年 9 月中旬 2026 年 4 月入学：2026 年 3 月中旬

2026 年 4 月入学 第一次募集＜一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜＞

内 容	日 程
障害等のある入学志願者との事前相談	2025 年 7 月 25 日（金）まで
入学資格審査 申請期間	2025 年 7 月 18 日（金）～8 月 1 日（金）
入学資格審査 結果通知	2025 年 8 月 5 日（火）以降
出願期間	2025 年 8 月 18 日（月）～9 月 1 日（月）
試験日	2025 年 9 月 18 日（木）
合格者の発表	2025 年 9 月 26 日（金）
入学手続き	2026 年 3 月中旬

2026 年 4 月入学 第二次募集＜一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜＞

※第一次募集で定員に満たなかった場合のみ行います。

2026 年 10 月入学 第一次募集＜社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜＞

内 容	日 程
障害等のある入学志願者との事前相談	2025 年 10 月 31 日（金）まで
入学資格審査 申請期間	2025 年 11 月 4 日（火）～11 月 20 日（木）
入学資格審査 結果通知	2025 年 11 月 27 日（木）以降
出願期間	2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 24 日（水）
試験日	2026 年 1 月 21 日（水）
合格者の発表	2026 年 1 月 30 日（金）
入学手続き	2026 年 4 月入学：2026 年 3 月中旬 2026 年 10 月入学：2026 年 9 月中旬

目 次

三重大学大学院地域イノベーション学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
--	---

○2025 年 10 月入学・2026 年 4 月入学・2026 年 10 月入学

三重大学大学院地域イノベーション学研究科（博士前期課程）学生募集要項	2
------------------------------------	---

【2025 年 10 月入学（第二次募集）、2026 年 4 月入学（推薦による選抜）】

募集人員・出願期間・試験日・合格発表	2
--------------------	---

【2026 年 4 月入学（第一次・第二次募集）、2026 年 10 月入学（第一次募集）】

募集人員・出願期間・試験日・合格発表	3
--------------------	---

選抜の方法	4
-------	---

出願資格	6
------	---

出願手続き	7
-------	---

入学資格審査	7
--------	---

入学検定料の返還について	8
--------------	---

出願書類等（表 1）＜推薦による選抜＞	9
---------------------	---

出願書類等（表 2）＜一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜＞	10
-------------------------------------	----

出願書類等（表 3）＜入学資格審査＞	11
--------------------	----

渡日前健康診断について	12
-------------	----

注意事項	12
------	----

障害のある入学志願者との事前相談	12
------------------	----

個人情報の利用について	14
-------------	----

過去の入学試験問題について	14
---------------	----

入学手続き	14
-------	----

入学料及び授業料	14
----------	----

長期履修学生制度について	14
--------------	----

大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置	15
----------------------------	----

教員免許について	16
----------	----

教育研究分野	17
--------	----

連携大学院	18
-------	----

博士前期課程の学位取得までの履修モデル	19
---------------------	----

各種問合せ先	23
--------	----

○博士前期課程 アドミッション・ポリシー（入学受入れ方針）

地域イノベーション学研究科は、地域のニーズを発見し、問題を解決するための新しい概念と方法を創造し、それらを国内のみならず海外にも展開できる地域イノベーション学に関わる高度な思考方法と実現方法を教育します。そして、「多面的な視野で研究・開発が推進できる能力とプロジェクト・マネジメントが実践できる高度な能力を兼ね備えた人材」および「地域にゼロから1を創造できる社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）人材」を養成します。

～このような人を育てます～

専門分野における研究開発や新事業の創出を担当者として遂行できる基礎的研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。

～このような人を求めます～

1. 大学学部等で修得した学習内容を幅広く理解し、基礎的な専門知識と外国語力を身につけている人
2. 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
3. 地域の問題について自ら感じ（感じる力）、問題解決方法を考え（考える力）、社会を発展させる（生きる力）意欲のある人
4. 国際的に通用する基礎的研究能力およびプレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を修養する意欲のある人
5. 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
6. 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）」となる意欲のある人

ー入学受入れ方針ー

・推薦による選抜

大学学部等の成績が優秀な学生を対象として、学修してきた内容を問うとともに、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力があり、プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持つ学生を口述試験によって選抜します。

・一般選抜

大学学部等で修得した学修内容を幅広く理解し、基礎的な外国語力を身につけており、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力があり、プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持つ学生を学力検査および口述試験によって選抜します。

・社会人特別選抜

プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持ち、基礎的な外国語力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある社会人学生を学力検査および口述試験によって選抜します。

・外国人留学生特別選抜

プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持ち、基礎的な外国語力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある外国人留学生を学力検査および口述試験によって選抜します。

**2025 年 10 月入学・2026 年 4 月入学・2026 年 10 月入学
三重大学大学院地域イノベーション学研究科（博士前期課程）
学生募集要項**

**【2025 年 10 月入学（第二次募集）〈社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜〉、
2026 年 4 月入学〈推薦による選抜〉】**

○募集人員

専 攻	ユニット	募集人員
地域イノベーション学	工学イノベーション	10 月入学：若干名 推薦入学：6 名程度
	バイオイノベーション	
	社会イノベーション	

○出願期間・試験日・合格発表

出願期間		試験日	合格発表
2025 年 6 月 16 日（月） ～2025 年 6 月 30 日（月）		2025 年 7 月 17 日（木）	2025 年 7 月 25 日（金）
備考	受付時間：平日 9 時から 17 時 （郵送の場合は 期間内に必着）	当日は受験票を必ず持参して 試験室に入室してください。	午前 10 時頃、地域イノベーション 学研究科掲示板に合格者の受験番 号を掲示するとともに、合格者には 発表日に合格通知書を本人宛に速 達で発送します。 電話等による可否の問い合わせに は一切応じません。

※本研究科ホームページに掲載する「合格者受験番号」については情報提供の一環として行う
ものであり、公式の合格発表は本研究科の掲示板及び郵送による通知で行います。

【2026 年 4 月入学（第一次・第二次募集）、2026 年 10 月入学（第一次募集）】

○募集人員

専 攻	ユニット	募集人員
地域イノベーション学	工学イノベーション	4 月入学：9 名程度 10 月入学：若干名
	バイオイノベーション	
	社会イノベーション	

2026 年 4 月入学（第一次募集）〈一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜〉

○出願期間・試験日・合格発表

出願期間		試験日	合格発表
2025 年 8 月 18 日（月） ～2025 年 9 月 1 日（月）		2025 年 9 月 18 日（木）	2025 年 9 月 26 日（金）
備考	受付時間：平日 9 時から 17 時 （郵送の場合は 期間内に必着）	当日は受験票を必ず持参して 試験室に入室してください。	午前 10 時頃、地域イノベーション 学研究科掲示板に合格者の受験番 号を掲示するとともに、合格者には 発表日に合格通知書を本人宛に速 達で発送します。 電話等による可否の問い合わせに は一切応じません。

※本研究科ホームページに掲載する「合格者受験番号」については情報提供の一環として行う
ものであり、公式の合格発表は本研究科の掲示板及び郵送による通知で行います。

2026 年 4 月入学（第二次募集）〈一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜〉

2026 年 10 月入学（第一次募集）〈社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜〉

○出願期間・試験日・合格発表

※第二次募集は、第一次募集で定員に満たなかった場合のみ行います。

出願期間		試験日	合格発表
2025 年 12 月 1 日（月） ～2025 年 12 月 24 日（水）		2026 年 1 月 21 日（水）	2026 年 1 月 30 日（金）
備考	受付時間：平日 9 時から 17 時 （郵送の場合は 期間内に必着）	当日は受験票を必ず持参して 試験室に入室してください。	午前 10 時頃、地域イノベーション 学研究科掲示板に合格者の受験番 号を掲示するとともに、合格者には 発表日に合格通知書を本人宛に速 達で発送します。 電話等による可否の問い合わせに は一切応じません。

※本研究科ホームページに掲載する「合格者受験番号」については情報提供の一環として行う
ものであり、公式の合格発表は本研究科の掲示板及び郵送による通知で行います。

○選抜の方法

※自然災害や感染症の拡大状況、その他の事情により選抜方法が変更になることがあります。

【推薦による選抜】

推薦による選抜の入学者の選抜は、書類審査（GPA 含む）、口述試験の結果を総合して行います。

選抜方法	時 間	摘 要
口述試験	13：30～	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

【一般選抜】・【外国人留学生特別選抜】

一般選抜及び外国人留学生特別選抜の入学者の選抜は、書類審査（GPA 含む）、学力検査、口述試験の結果を総合して行います。なお、学力検査は TOEIC®（Test of English for International Communication）公開テスト及び各種団体が主催する TOEIC®IP テスト（各大学生協主催のカレッジ TOEIC®, 本学主催の TOEIC®IP テストを含みます）によって判定することとし、本人確認が可能なスコアシート（出願受付開始日から遡って 5 年以内のもの）のみ有効とします。

注 1) TOEIC® Speaking&Writing Tests, TOEIC®Speaking Test, TOEIC Bridge®のスコアは評価の対象となりません。

注 2) TOEIC®受験に係る費用は、志願者の自己負担となりますのでご了承ください。

注 3) 授業のための日本語力は必要です。

選抜の方法	時 間	摘 要
学力検査		出願受付開始日から遡って 5 年以内の TOEIC®公開テスト又は各種団体が主催する TOEIC®IP テストの本人確認が可能なスコアシートを出願時に提出してください。
口述試験	13:30～	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜の入学者の選抜は、書類審査（GPA 含む）、学力検査、口述試験の結果を総合して行います。なお、学力検査は TOEIC® (Test of English for International Communication) 公開テスト及び各種団体が主催する TOEIC®IP テスト(各大学生協主催のカレッジ TOEIC®, 本学主催の TOEIC®IP テストを含みます) によって判定することとし、本人確認が可能なスコアシート（出願受付開始日から遡って 5 年以内のもの）のみ有効とします。ただし、スコアシートが提出できない場合、筆記試験（英文読解）による判定に替えることができますので、事前にお問い合わせください。

注 1) TOEIC®Speaking&Writing Tests, TOEIC®Speaking Test, TOEIC Bridge®のスコアは評価の対象となりません。

注 2) TOEIC®受験に係る費用は、志願者の自己負担となりますのでご了承ください。

選抜の方法	時 間	摘 要
学力検査		出願受付開始日から遡って 5 年以内の TOEIC®公開テスト又は各種団体が主催する TOEIC®IP テストの本人確認が可能なスコアシートを出願時に提出してください。 ＜筆記試験に替える場合は、以下となります。＞ 筆記試験（英文読解） 10:30～12:00 ※辞書（1 冊：電子式は不可）の持ち込みを認めます。
口述試験	13:30～	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

○出願資格<⑨、⑩に該当する者は、入学資格審査が必要です。>

2025 年 10 月入学志願者は 2026 年 3 月 31 日を 2025 年 9 月 30 日、2026 年 10 月入学志願者は 2026 年 3 月 31 日を 2026 年 9 月 30 日と読み替えてください。

【推薦による選抜】

下記の①～③のいずれかに該当する者で、志望するユニットに関する分野の学科・専攻等に在学し、学業成績が優秀な者として指導教員から推薦され、合格した場合には、2026 年 4 月に入学を確約できる者

【一般選抜】

下記の①～⑩のいずれかに該当する者

【社会人特別選抜】

次の要件 A 又は B に該当する者で、下記の①～⑩のいずれかに該当する者

要件 A：出願時において、企業等で 1 年以上勤務し、入学後も引き続き勤務が見込まれる者

要件 B：要件 A に該当しない者で、入学時において 1 年以上の社会での経験を有する者

【外国人留学生特別選抜】

「留学」在留資格を取得又は取得見込みの者で、修学に必要な程度の日本語能力(※)があり、下記の①～⑩のいずれかに該当する者

※日本語能力試験（JLPT）の N1 資格を持っていることが望ましい。

①学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学の卒業者及び 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

②学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
《大学改革支援・学位授与機構により学位を授与された者及び見込みの者をいいます。》

③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

④外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑤日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するもの（下記一覧参照）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧（令和6年10月31日現在）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm

⑧文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

《文部科学大臣の指定による、大学を卒業した者と同等の学力があると認められる者とは次の者をいいます。旧大学令による大学、旧高等師範学校規程による高等師範学校専攻科、旧師範教育令による高等師範学校・女子高等師範学校の修業年限1年以上の研究科、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校の長期課程などの卒業（修了）及び2026年3月31日までに卒業（修了）見込みの者》

⑨学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

《本研究科以外の大学院に飛び入学した者が本研究科において教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者をいいます。》

⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

○出願手続き

1) 出願方法

【推薦による選抜】

入学志願者は、出願期間内に＜出願書類等（表1）＞を、郵送（書留速達：必着）又は持参により提出してください。※出願書類等は、返還しません。

【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜】

出願資格①～⑧の一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜での入学志願者は、出願期間内に＜出願書類等（表2）＞を、郵送（書留速達：必着）又は持参により提出してください。※出願書類等は、返還しません。

2) 出願先 三重大学地域イノベーション学研究科チーム TEL：059-231-9632

（三重大学地域イノベーション研究開発拠点D棟1階）

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

○入学資格審査

出願資格⑨、⑩の一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜で出願しようとする入学志願者には、個別の入学資格審査を行います。事前に地域イノベーション学研究科チームへ照会してください。また、志望する教育研究分野の教員又は指導予定教員と事前に必ず連絡を取ってから出願してください。

1) 入学資格審査書類提出期間

2025年10月入学 第二次募集：2025年4月28日（月）～2025年5月22日（木）

2026 年 4 月入学 第一次募集：2025 年 7 月 18 日（金）～2025 年 8 月 1 日（金）

2026 年 4 月入学 第二次募集及び 2026 年 10 月入学 第一次募集

：2025 年 11 月 4 日（火）～2025 年 11 月 20 日（木）

※受付時間は平日の 9 時から 17 時、郵送（書留速達に限る。）の場合は期間内必着のこと。

2) 入学資格審査結果通知期日

2025 年 10 月入学 第二次募集：2025 年 5 月 29 日（木）以降

2026 年 4 月入学 第一次募集：2025 年 8 月 5 日（火）以降

2026 年 4 月入学 第二次募集及び 2026 年 10 月入学 第一次募集

：2025 年 11 月 27 日（木）以降

3) 入学資格審査出願書類

出願書類等（表 3）に記された必要書類（受験票送付用封筒、入学検定料振込証明書以外）を提出してください。出願資格⑨、⑩の一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜に該当する者の認定は、出願書類等の審査により行います。審査の結果「入学資格あり」と認定された場合は、入学検定料（30,000 円：出願期間内の入金必須）を振込み完了後、振込証明書（原本）を出願期間内に提出してください。なお、出願書類は再度提出していただく必要はありません。

4) 審査の結果「入学資格あり」と認定されたが諸般の事情により受験できなかった、受験したが不合格となった場合は、本年度内実施の入学試験に限り審査結果を有効とします。

○入学検定料の返還について

入学検定料の返還に該当する者及び返還手続きは、次のとおりです。

なお、①～④に該当しない者は理由の如何を問わず入学検定料の返還は行いません。

【検定料返還対象者】

- ①入学検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
- ②入学検定料を誤って二重に払い込んだ者
- ③出願無資格者であることが判明した者
- ④大規模な風水災害等を理由に学長が認めた者

【検定料返還手続き】

返還手続きについては、以下の web サイトをご参照ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/folder/>

なお、返還手続きには入学検定料「振込証明書」の原本が必要です。

【問合せ先・返還請求書送付先】

三重大学財務部財務管理チーム収入担当

TEL:059-231-9028（平日 9-17 時）

E-mail: syunyu@ab.mie-u.ac.jp

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

○出願書類等（※出願書類等は、返還しません〔返還方法の記載がある場合を除く〕。）

・出願書類等（表１）【推薦による選抜】出願資格：①～③

出願書類＜推薦＞	摘 要
入学志願票	【本研究科所定の様式】 必要事項を記入してください。志望する指導教員に研究内容等を事前相談してから作成してください。
履歴書	
受験票・写真票	【本研究科所定の様式】 出願日前３か月以内に撮影した写真を貼ってください。
卒業見込み証明書	出身大学又は学校等の卒業見込み証明書 ※現在、本学に正規生として在籍する者は不要です。
大学等の成績証明書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの
志願理由書	【本研究科所定の様式】 入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を 1,000 字程度で記入してください。
推薦書	【本研究科所定の様式】 在学大学等の指導教員が作成し、厳封したものを提出してください。
研究業績の概要 （卒業論文要旨）	【本研究科所定の様式】 1,000 字程度（図・表等を含めることも可）で執筆中の卒業論文の要旨を記入してください。研究の進行状況を記述したものでもかまいません。
受験票送付用封筒	長形３号の定形封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、620 円分切手（特定記録郵便速達）を貼ってください。 ※郵便料金は変更される場合がありますので、最新情報については、日本郵便株式会社の公式ウェブサイトでご確認ください。
入学検定料	【本学所定の振込用紙】 30,000 円（振込手数料が別途必要となります。） 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 ※日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。
国籍・在留資格を 証明できる書類	外国人留学生は、入国査証、在留カードの写し等を提出してください。

- ・出願書類等（表2）【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜】出願資格①～⑧
志願者は下記の書類を提出してください。○印の書類は全員が必要です。△は該当者のみ

出願書類	摘 要	一般選抜	社会人選抜	外国人選抜
入学志願票	【本研究科所定の様式】 必要事項を記入してください。志望する指導教員に研究内容等を事前相談してから作成してください。	○	○	○
履歴書		○	○	○
受験票・写真票	【本研究科所定の様式】 出願日前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。	○	○	○
卒業（見込み）証明書	出身大学又は学校等の卒業（見込み）証明書 ※現在、本学に正規生として在籍する者は不要です。	○	○	○
出身大学又は学校等の成績証明書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの	○	○	○
学位授与証明書又は学位授与見込みを証明する書類	出願資格②に該当する者は必要です。学位授与見込みの者は、短期大学長又は高等専門学校長が発行した学位授与申請（予定）証明書又は修了見込み証明書等の学位授与見込みを証明する書類。	△	△	△
志願理由書	【本研究科所定の様式】 入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を1,000字程度で記入してください。	○	○	○
研究業績の概要 （卒業論文等要旨可）	【本研究科所定の様式】 1,000字程度（図・表等を含めることも可）で出願者の研究業績（卒業論文も可）の概要を記入してください。 ただし、卒業見込みの者および大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与される見込みの者は、研究の進行状況を記述したものでもかまいません。	○	○	○
研究成果資料	出願者の研究業績（著書、学術論文、学術報告、学会発表、特許等）がある場合は、それを示す資料を添付してください。 共同研究の場合は、出願者が担当した部分を明確に記載してください。	△	△	△
TOEIC®スコアシート等	本人確認が可能なスコアシート（出願受付開始日から遡って5年以内のもの）を提出してください。 資料の返還を希望する場合は、提出資料返還願（任意様式）を提出してください。試験日以降に地域イノベーション学研究科チームにて返還します。	○	△	○
受験票送付用封筒	長形3号の定形封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、620円分の切手（特定記録郵便速達）を貼ってください。 ※郵便料金は変更される場合がありますので、最新情報については、日本郵便株式会社の公式ウェブサイトでご確認ください。	○	○	○
入学検定料	【本学所定の振込用紙】 30,000円（振込手数料が別途必要となります。） 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 ※日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。	○	○	○
健康診断書	【本学所定の様式】（ https://www.mie-u.ac.jp/exam/health/ ） 出願期間中に海外在住の者（日本国籍者含む）で、受験のために新たに渡日する者は、出願時から遡って6か月以内に作成された診断書を提出してください。	△	△	△
国籍・在留資格を証明できる書類	外国人留学生は、入国査証、在留カードの写し等を提出してください。	△	△	○

- ・出願書類等（表3）【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜】出願資格⑨、⑩
志願者は下記の書類を提出してください。○印の書類は全員が必要です。△は該当者のみ

出願書類 ＜入学資格審査＞	摘 要	一般選抜	社会人選抜	外国人選抜
入学資格審査申請書	【本研究科所定の様式】 必要事項を記入してください。志望する指導教員に研究内容等を事前相談してから作成してください。	○	○	○
入学志願票		○	○	○
履歴書		○	○	○
受験票・写真票	【本研究科所定の様式】 出願日前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。	○	○	○
出身大学又は学校等の成績証明書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの	○	○	○
志願理由書	【本研究科所定の様式】 入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を1,000字程度で記入してください。	○	○	○
研究業績の概要	出願資格⑩に該当する者は必要です。 【本研究科所定の様式】 1,000字程度（図・表等を含めることも可）で作成してください。	△	△	△
研究成果資料	出願者の研究業績（著書、学術論文、学術報告、学会発表、特許等）に関する資料（共同研究の場合は、出願者が担当した部分を明確に記載してください。）または上司による職場での実務経験を証明する文書を添付してください。	○	○	○
TOEIC®スコアシート等	本人確認が可能なスコアシート（出願受付開始日から遡って5年以内のもの）を提出してください。 資料の返還を希望する場合は、提出資料返還願（任意様式）を提出してください。試験日以降に地域イノベーション学研究科チームにて返還します。	○	△	○
健康診断書	【本学所定の様式】 (https://www.mie-u.ac.jp/exam/health/) 出願期間中に海外在住の者（日本国籍者含む）で、受験のために新たに渡日する者は、出願時から遡って6か月以内に作成された診断書を提出してください。	△	△	△
国籍・在留資格を証明できる書類	外国人留学生は、入国査証、在留カードの写し等を提出してください。	△	△	○
※以下は、審査の結果「入学資格あり」と認定された場合、出願期間内に支払い及び提出をしてください。				
受験票送付用封筒	長形3号の定形封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、620円分の切手（特定記録郵便速達）を貼ってください。 ※郵便料金は変更される場合がありますので、最新情報については、日本郵便株式会社の公式ウェブサイトでご確認ください。	○	○	○
入学検定料 (入学資格審査による出願時には入金しないでください。)	【本学所定の振込用紙】 30,000円（振込手数料が別途必要となります。） 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 ※日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。	○	○	○

○渡日前健康診断について（本学様式必須：<https://www.mie-u.ac.jp/exam/health/>）

出願期間中に外国に在住している者（日本国籍を有する者を含む）で、受験するために新たに渡日する者は、渡日前健康診断書（本学所定の様式）を本学 HP から取得し、原本または PDF を出願時に提出してください。

渡日前健康診断書は、出願期間の初日の時点から起算して 6 ヶ月以内に海外の医療機関において公式に作成されたものとします。なお、健康診断に係る費用は、志願者の自己負担となります。

※本学保健管理センターにおいて健康診断書を確認し、結核感染等が確認された場合には、入学試験期日の 2 週間前までに新たに健康診断書を提出し、「感染のおそれがない」と認められない限り、入学試験を受験することはできません。（※参照：入学検定料の返還について）

○注意事項

- （１）出願書類に記入漏れ等不備がある場合は、受理しないことがあります。
- （２）出願書類等に虚偽の記載内容があった場合は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- （３）三重大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生の受入に際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究できない場合があります。

【参考】安全保障輸出管理（三重大学 HP）<https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/>

○障害のある入学志願者との事前相談

本研究科の入学志願者で、疾病・負傷や身体障害のため、受験上及び就学上の配慮を必要とする者は、下記の相談の時期までに下記の申請先に事前相談の申請をしてください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

（１）申請書様式

「出願前相談申請書」：申請書の様式は、本研究科ウェブサイトの入試情報（<https://www.mie-u.ac.jp/innovation/admission/examinee/>）の出願書類よりダウンロードしてください。

参考として、「医師の診断書（原本）」、「障害者手帳（写）」等を提出してください。

（２）申請先

三重大学地域イノベーション学研究科 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

TEL：059-231-9632

FAX：059-231-9956

（３）申請方法

電話又は FAX によりあらかじめ地域イノベーション学研究科チームに連絡した上で、出願前相談申請書を郵送などの方法により提出してください。

(4) 相談の時期（平日の 9 時から 17 時まで）

2025 年 10 月入学 第二次募集・推薦：2025 年 5 月 30 日（金）まで

2026 年 4 月入学 第一次募集：2025 年 7 月 25 日（金）まで

2026 年 4 月入学 第二次募集及び 2026 年 10 月入学 第一次募集
：2025 年 10 月 31 日（金）まで

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対 象 と な る 者
①視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
②聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由者に関する配慮を必要とする者
④病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤発達障害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(5) 受験上の配慮の例

・試験場への乗用車の入構	・試験室を別室に設定
・車椅子の使用	・座席を最前列／最後列／出入口近く等に設定
・補聴器の使用	・試験室を障害者用トイレ近くに設定
・連絡事項の文書による伝達	・試験時間の延長

三重大大学の取組み

本学では、「三重大大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

○個人情報の利用について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という）が平成 17 年 4 月 1 日から施行されました。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

- （１）合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- （２）入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修業に係わる業務並びに健康診断等の保険管理に係わる業務で利用します。
- （３）入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- （４）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修業支援に係わる業務で利用します。
- （５）個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査で利用します。

※本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、本人の同意を得ることなく、上記以外の目的で利用または第三者に提供することはありません。

○過去の入学試験問題について

三重大学地域イノベーション学研究科事務室において、過去 3 年分の学力検査の試験問題を閲覧いただけます。また、コピーしたものをお渡しすることも可能です。

○入学手続き

入学手続きに必要な書類は、2026 年 3 月上旬（10 月入学は 9 月上旬）に送付します。

注）在職者は、所属長の入学承諾書が必要です。

○入学料及び授業料

①入学料：282,000 円（予定額）

②授業料：前期分 267,900 円（予定額）
（年 額 535,800 円）（予定額）

注）①②とも国費外国人留学生は不要です。

注）在学中に授業料の改定が行われた場合には改定された新授業料が適用されます。

○長期履修学生制度について（要申請）

長期履修学生制度は、職業等に従事しながら、個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限（2 年）を超えて履修し学位等を取得できるようにする制度です。

長期履修学生として認められる修業年限は最大 4 年となります。それぞれの年（学期）に支払う授業料は、2 年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額をあらかじめ認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

長期履修を希望する者は、申請期限内（4 月入学は 2 月 20 日、10 月入学は 8 月 20 日、いずれも当該日が休日等の場合は翌平日）に「長期履修申請書（本研究科所定の様式）」及び「在職証明書等（在職証明書またはそれに準ずる書類）」を提出する必要があります。長期履修申請書（本研究科所定の様式）は、事前に下記事務室へ請求してください。

長期履修申請の審査結果は後日、合格者本人に通知します。

【授業料の納入例】

標準修業年限（2年）

1年目	2年目
(535,800円)	(535,800円)

授業料総額 1,071,600円

①出願時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合

1年目	2年目	3年目
(357,200円)	(357,200円)	(357,200円)

授業料総額1,071,600円

$1,071,600 \text{ 円} \div 3 \text{ 年} = 357,200 \text{ 円}$ （1年間の授業料）

②出願時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合

1年目	2年目	3年目	4年目
(267,900円)	(267,900円)	(267,900円)	(267,900円)

授業料総額1,071,600円

$1,071,600 \text{ 円} \div 4 \text{ 年} = 267,900 \text{ 円}$ （1年間の授業料）

長期履修学生制度についての詳細は、下記事務室へお問い合わせください。

三重大学地域イノベーション学研究科チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

TEL : 059-231-9632 FAX : 059-231-9956

○大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は標準で2年間その勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されています。

このため大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人の就学に特別措置を行うことが配慮されています。

これを踏まえ、本研究科では、大学院での履修を希望する社会人を積極的に受け入れるため、概ね次のように実施します。

1. 授業等の実施方法

- (1) 通常の授業時間帯の他に、平日は夜間の11・12時限（18：00～19：30）、休日は土曜日の第1～8時限（8：50～16：10）の間に授業を受けることができます。
- (2) 夏期休業中などの長期休暇を利用して集中授業を受けることもできます。
- (3) 講義の一部については自宅学修により履修できます。
- (4) 上記による場合は、指導を希望する教員と十分相談の上、実施可能な履修計画を立ててください。

2. 研究内容と場所

- (1) 社会人学生の研究は、本研究科の指導教員の指導によって実施し、その内容は公表されることになります。教員の選んだテーマ以外にも、教員の了解を得て、勤務先等での研究体験を通して選んだテーマで研究を行うこともできます。
- (2) 研究を全うするために、大学にない特殊な研究設備などを必要とする場合には、本研究科の研究室以外に、許可が得られれば他研究科、勤務先等の施設や設備を利用することが認められています。

○教員免許について

本研究科において、高等学校教諭専修免許状の取得はできません。

○教育研究分野

本研究科は、次表の専任教員の教育研究分野以外に、本学の他の研究科の教員との共同研究も推進しており、種々の分野を融合した新しい境界領域を教育研究します。

専任教員 (2025 年 4 月現在)

ユニット	担 当 教 員	役割	研究分野の内容
工学イノベーション・バイオイノベーション・社会イノベーション	教 授 青 木 雅 生	R&D	経営学、経営史、研究開発マネジメント論、中小企業論
	教 授 安 食 和 宏	R&D	人文地理学、農山村地理学
	教 授 大 山 暁 男	R&D	植物栽培生理学、植物ゲノミクス、植物遺伝育種学
	教 授 小 林 一 成	R&D	植物病理学、応用植物ゲノム学
	教 授 水 藤 弘 吏	R&D	スポーツ科学、体育・身体教育学、スポーツバイオメカニクス
	教 授 諏訪部 圭 太	R&D	植物育種学、植物分子遺伝学、植物細胞生物学
	教 授 西 村 訓 弘	PM	地域イノベーション学、トランスレーショナル医科学
	教 授 野 中 章 久	R&D	農業経済学、農業経営学、農業情報研究
	教 授 橋 本 忠 範	R&D	無機化学、無機材料化学、機能性材料化学
	教 授 浜 田 吉 司	PM	経営学、地域イノベーション論
	教 授 松 田 裕 子	R&D	農業経済学、地域政策学
	教 授 丸 山 直 樹	R&D	熱流体工学、伝熱工学、環境工学、エネルギー変換工学
	教 授 森 久 綱	R&D	農業経済論（生産材市場）、資源循環システム論
	教 授 矢 野 竹 男	R&D	免疫化学、免疫測定、食品化学、食物アレルギー、フィトケミカル、プロジェクト・マネジメント
	准教授 加賀谷 安 章	R&D	植物生理学、植物分子生物学、植物分子遺伝学
	准教授 加 藤 貴 也	PM	バイオメカニクス、バイオエンジニアリング、産学官連携、アントレプレナーシップ論
	准教授 狩 野 幹 人	PM	食品工学、分光分析、知的財産マネジメント、技術移転マネジメント、リスクマネジメント
	准教授 水 木 千 春	R&D	集落地理学、歴史地理学、地域防災論
	准教授 八 神 寿 徳	PM	知的財産マネジメント、技術移転、計算科学、流体工学

○連携大学院

三重大学大学院地域イノベーション学研究科は、大学院教育の実施にあたり、株式会社浅井農園と連携して連携大学院を設置しています（R7.4.1 設置）。

連携大学院方式について

連携大学院方式とは、連携する研究機関がもつ高度な研究水準（施設・設備・人的資源〔技術・方法論〕）を活用して大学院教育を行うもので、連携機関からは研究者が連携大学院の連携教員として教育研究に参加するとともに、当該機関においても学生を受け入れ、学生に対する研究指導を行います。

担 当 教 員	役割	研究分野の内容
連携教授 浅 井 雄一郎 (株式会社浅井農園)	R&D PM	先端農業経営学、植物工場システム学、地域イノベーション学
連携准教授 中 島 正 登 (株式会社浅井農園)	R&D	園芸学（施設園芸・果樹）、植物生理学
連携准教授 澁 谷 九 輝 (株式会社浅井農園)	R&D	施設園芸工学、光計測学

博士前期課程の学位取得までの履修モデル①

工学イノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ：学生の自主性を高める次世代 e ラーニングシステムの開発

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、情報科学を専門とする R&D 教員が主指導者として研究指導を行い、データマイニングを専門とする R&D 教員が指導を補助することで、学生の情報発信能力を向上させる支援ツールを付加した次世代 e ラーニングシステムを開発するために必要な要素技術の研究を行う。さらに、PM 教員が特別研究に加わり、関連する産業界の分析を行わせることで研究成果の応用ターゲットを設定させ、特別研究の成果を実用化するための研究開発プロジェクトについて実践的な戦略と手順を考察・立案させる。

修了後の進路予定

- 情報システム企業における次世代 e ラーニングシステムの開発担当者
- 情報ネットワーク企業における次世代 e ラーニングシステム向けネットワークシステムの開発担当者

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	工学イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位)	○インターンシップ研修 I (4 単位) ○各特論 2 単位×4 科目=8 単位 ・工学知財財産特論 ・バイオ基礎特論 ・社会経営基礎特論 ・工学イノベーション特論 I～IV ○工学イノベーション専門英語 I～IV (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 単位) ○英語口頭発表 (1 単位) ○英語論文作成 (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士（学術）

※掲載の履修モデルは令和 6 年度現在のものです。

博士前期課程の学位取得までの履修モデル②

バイオイノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ：生体遺伝子と免疫応答、ストレス応答の分子機構の解明

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、植物科学を専門とする R&D 教員が主指導者として研究指導を行い、農学系バイオサイエンスを専門とする R&D 教員が指導を補助することで、免疫応答性を強化することでストレス耐性を高めた植物品種を開発するために必要な要素技術の研究を行う。さらに、PM 教員が特別研究に加わり、関連する産業界の分析を行わせることで研究成果の応用ターゲットを設定させ、特別研究の成果を実用化するための研究開発プロジェクトについて実践的な戦略と手順を考察・立案させる。

修了後の進路予定

- 県の農業系職員として作物の病害を管理する担当者
- 国際展開するアグリビジネス企業におけるストレス耐性植物品種の開発担当者

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	植物系バイオイノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位) ○国際コミュニケーション I (1 単位)	○インターンシップ研修 I (4 単位) ○各特論 2 単位×4 科目=8 単位 ・バイオ知的財産特論 ・工学基礎特論 ・社会経営基礎特論 ・バイオイノベーション特論 I～VIII ○バイオイノベーション専門英語 I～VI (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 単位) ○国際コミュニケーション II (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士（学術）

※掲載の履修モデルは令和 6 年度現在のものです。

博士前期課程の学位取得までの履修モデル③

社会イノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ： 地域にエネルギーを供給するバイオマス発電事業の実証研究

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、新エネルギーを専門とする PM 教員が主指導者となり、電力会社で管理職として勤務する社会人学生の指導を行い、世界のエネルギー政策を専門とする R&D 教員が指導を補助する。バイオマスをういた新エネルギー開発に関連する世界の動向を分析させることにより、グローバルな視点からエネルギー政策の現状を俯瞰させ、地域のエネルギー供給のあり方について深く考察させる。これを基礎とし、PM 教員と電力会社との共同研究を題材として、バイオマスエネルギーを事業化する新プロジェクトを職場で提案するための実践的な研究を実施する。

修了後の進路予定

- 勤務する電力会社における経営者層の候補者
- 勤務する電力会社が創設するバイオマス発電事業を行う社内ベンチャーの経営者

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (選択必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	社会イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位) *以上を反転授業として履修 ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○国際コミュニケーション I (1 単位)	○社会連携実践 (4 単位) ○各特論 2 単位×4 科目=8 単位 ・工学基礎特論 ・バイオ基礎特論 ・社会経営基礎特論 ・社会イノベーション特論 I～VII ・地域連携特論 I・II (各 1 単位) ○社会イノベーション専門英語 I～V (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 単位) ○国際コミュニケーション II (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士（学術）

※掲載の履修モデルは令和 6 年度現在のものです。

博士前期課程の学位取得までの履修モデル④

社会イノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ： 地域の特産品に含まれる新規健康機能性成分の探索

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、食品の健康機能性成分を専門とする PM 教員が主指導者となり、生物系学部を卒業した一般学生の指導を行い、マーケティングを専門とする R&D 教員が指導を補助する。社会が求める食品の健康効果について社会科学的な分析を実施するとともに、地域の食品会社における半年間の長期インターンシップを履修することにより、地域における食品会社起業の可能性と課題を実践的に理解する。これらの実践的な分析と経験から、ターゲットとして特定された健康効果の分析方法を開発し、地域の特産品をスクリーニングして知財になりうる新規の健康成分を探索する研究を実施する。

修了後の進路予定

- 地域の特産物に含まれる健康成分を利用した製品を製造販売する企業の設立者
- 大学院地域イノベーション学研究科博士後期課程への進学

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (選択必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	社会イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位) *以上を反転授業として履修 ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位)	○インターンシップ研修 I (4 単位) ○各特論 2 単位×4 科目=8 単位 ・工学基礎特論 ・バイオ基礎特論 ・社会イノベーション特論 I～VII ・地域連携特論 I・II (各 1 単位) ○社会イノベーション専門英語 I～V (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 単位) ○英語口頭発表 (1 単位) ○英語論文作成 (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士（学術）

※掲載の履修モデルは令和 6 年度現在のものです。

各種問合せ先について

＊平日（年末年始及び夏季休業日は除く。）9時から17時までにお問い合わせください。

地域イノベーション学研究科の入学試験に関すること	三重大学地域イノベーション学研究科チーム （三重大学地域イノベーション研究開発拠点 D棟1階） 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 TEL:059-231-9632 FAX:059-231-9956 E-mail : innov-jimu@ab.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL : 059-231-9061
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL : 059-231-9678
学生寮に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL : 059-231-5371
入学料及び授業料の納入に関すること	三重大学財務部財務管理チーム TEL : 059-231-9028